

(ご参考①) 平成18年度経営方針と進捗状況

平成18年度経営方針：「持続的成長に向けた地歩固め」

■「お客さまの価値創造に資する質の高い商品・サービス」のグループベースでの提供推進

(1) 個人ビジネス

コンサルティングビジネスの一段の高度化

商品・サービスの拡充

- ・資産運用商品ラインアップの拡充
- ・「三大疾病保障付住宅ローン」の商品性向上

コンサルティング専門拠点の増設

- ・「SMBCコンサルティングプラザ/オフィス」の増設

アライアンスを通じたサービスの拡充

- ・「三井住友カードiD」(NTTドコモ)
- ・コンシューマーローン(プロミス)
- ・新インターネット金融事業(ヤフー)
- ・来店型保険代理店事業(三井生命、住友生命)

(2) 法人ビジネス

経営課題解決型ビジネスの強化

- ・コーポレート・アドバイザリー本部の新設(18年4月)
- ・大和証券SMBCとの協働の一段の推進

多様な資金調達ニーズへの対応

- ・シンジケート・ローン、ストラクチャード・ファイナンス、
中小企業向け無担保貸出等の提供推進

グループ一体となったソリューション提供の推進

- ・三井住友銀リース、日本総合研究所等との協働推進
- ・住友商事グループとのリース/オートリース事業の
戦略的共同事業化(18年10月基本合意)

海外ビジネスの強化

- ・営業拠点の新設(ホーチミン、ヒューストン、シドニー等)
- ・プロジェクト・ファイナンス等、強みを持つ業務の
一段の高度化

■強固な企業基盤の構築

(1) 内部管理体制の一段の高度化

コンプライアンスの徹底

品質向上・CS推進体制の強化

リスク管理の高度化

内部監査体制の強化

業績評価制度の見直し

人材マネジメントの高度化

- ・「コンプライアンス部門」の設置(18年4月)

- ・「品質管理部」の設置(18年4月)

「業務管理委員会」
の設置

- ・18年度末のバーゼルⅡ(新BIS規制)導入を踏まえた体制強化

- ・諸施策の有効性の一段と厳格な検証

- ・お客さまの視点、中長期的視点に立ったバランスの取れた評価の実施

- ・従業員が一段と能力を発揮できる体制作りの推進

(2) 財務基盤の一段の強化

資本の質・量両面での拡充

- ・公的資金を10月に完済
- ・引き続き資本の質・量両面での拡充に注力

平成18年度上期業績

<18/3期実績>

SMFG連結当期純利益

6,868億円

銀行単体当期純利益

5,195億円

<18/9期実績>

2,437億円

1,836億円

<19/3期予想>

5,700億円

4,600億円